

就職 内定体験記

1. 群馬県職員 3類農業区分
2. 群馬県職員 総合土木
3. 群馬用水土地改良区
4. 日本郵便株式会社 一般職・窓口コース
5. 前橋市農業協同組合
6. 株式会社原田 菓子製造ラインオペレーター
7. 社会福祉法人 前橋士道会 シャリティエ前橋 介護職員



1. 群馬県職員 3類農業区分

元々私は公務員ではなく、大学進学を目指していました。きっかけは高校に入ってから弓道部へ所属することになり、お世話になった先輩方に憧れを抱いたことです。先輩方は部活動に関することはもちろん、大学進学のことや勉強の方法、資格など様々なことについて教えてくださり、私の目標になってくれました。そこから大学進学を目指し、勉強に励むようになりました。自分を少しでも変えようと 1 年次には生徒会庶務を、2 年次には生徒会副会長を務め、資格も多く取ることが出来ました。

進学したい大学も決まり、3 年生のここからが本番というときに、様々な事情から進路変更を余儀なくされました。私は急遽公務員に舵を切ることとし、夏休みの 1 ヶ月で猛勉強しました。農業区分自体、募集が久々に過去問もなく、FFJ 検定や日本農業技術検定で勉強するしかありませんでした。しかし、今まで大学進学のために基礎知識、専門知識ともにつけてきた甲斐もあり、1 次試験は難なく突破、2 次試験の作文・面接も生徒会活動などを通して経験を積んでいたこと、B 科の先生や教頭先生にお願いし、何度も練習を重ねていたことが功を奏し、突破。採用面接にて採用が伝えられました。

これが私が群馬県職員 3類に合格するまでの流れです。最後に後輩たちへのアドバイスです。努力を続けてください。努力は経験となり、自分の力となり、自信に繋がります。また、将来使うかわからない教科でも勉強を諦めないでください。多くの知識をつけておくことは自分や他人のことをよりの確に知る事ができます。それが良い人間関係を築くことに繋がると思います。これからも頑張ってください。

2. 群馬県職員 総合土木

私は、初めは、民間の土木関係の会社に就職をするつもりでしたが、高校3年間で学んできた土木の知識や技術を生かし、土木事業の計画から完成後の維持管理まで幅広い分野に携わりたいと思い、公務員を目指すことにしました。

群馬県職員の総合土木を第一志望にし、それ以外にも、国家公務員と玉村町を受験しました。群馬県職員は、一次試験では筆記試験で、二次試験では面接がありました。まずは筆記試験に向けて7月から試験勉強を始めました。筆記試験は一般教養分野と専門分野があり、一般教養分野は問題集を何回も解いたり、公務員対策を行っている専門学校の講座に参加し、専門分野は、過去問題を解いて勉強をしました。一般教養分野も専門分野も勉強する範囲がとても広く、特に、専門分野は授業でやってないところも多く出るのでわからないところは先生に教わって勉強をしました。夏休みや放課後など毎日勉強を続けるのは大変でしたが、一次試験を合格することができ、二次試験の面接ではたくさんの先生方に練習をしていただき、初めは自分が話したいことをうまく伝えるのが難しかったですが、練習を重ねるうちにうまく伝えられるようになりました。試験当日は緊張しましたが練習したことを発揮でき、合格することができました。

指導をしていただいた先生方のおかげで第一志望の群馬県職員に合格することができたと思います。これからは、公務員として働く中で社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

3. 群馬用水利地改良区

私は、入学した当初公務員を目指して日々の学習に励んでいましたが、知人からの話を聞いているうちにこの企業に興味を持ち、この「群馬用水利地改良区」というところ志望しました。

実際に企業見学に行ってみて、仕事内容、仕事のやりがい、またどのように地域をサポートするかなどのお話を聞くことができました。職場の雰囲気や仕事内容も良く更に興味を持ち、ここで働きたいという気持ちが強くなりました。

この企業では入社試験で面接と作文がありました。面接練習が始まってからは、時間が空いている先生方に積極的に声をかけ自分が納得行くまで練習に励んでいました。また、たくさんの友達にも手伝ってもらいました。一人ひとりのアドバイスが違い色々な改善点も見つけることができました。私から後輩にアドバイスをするなら、面接練習はしっかりやっておいた方が良いでしょう。実際の本番で何を聞かれるかわからないので、練習でアドリブ力やしっかり話せる力を身につけておくことが大切だと思います。また、面接練習が始まってからは先生方も忙しいので早めに声をかけておくことも必要だと思います。

試験本番では、練習をたくさんしていたかいもありリラックスして挑むことができました。結果は内定を頂き本当に嬉しかったです。また、練習に付き合ってくれた先生方や友達、本当にありがとうございました。そして仕事が始まったら地域に貢献するとともに立派な社会人になれるように頑張りたいと思います。

4. 日本郵便株式会社 一般職・窓口コース

私は、日本郵便株式会社に内定をいただきました。私がこの進路を決めたのは事務職を希望していたからです。

事務職は求人数が少なく人気であるため、なかなか自分が思う企業を見つけられませんでした。夏休み中の企業見学では事務職と製造職の両方を見学に行きましたが、自分がパソコン作業が得意なことを活かしたいと考え、改めて事務職への希望が強くなりました。9月に就職試験が始まり、第一希望の企業の試験を受けましたが、結果は残念なものでした。周りが進路決定していく中で、焦る気持ちもありましたがしっかりと切り替え、次の企業を探し始めました。企業を探している時に先生から郵便局の求人票が来ていることを聞き、企業見学や過去の勢多農の先輩達が勤めていることも知り郵便局の受験を決めました。埼玉県にある関東支社で面接・筆記試験・適性検査を受けました。試験前日まで面接練習をし、先生からのアドバイスや改善点を聞きました。特に窓口コースでは地域のお客様と直接接するため、志望理由では地域に貢献したいということを伝えました。試験本番は、とても緊張しましたがアドバイスや練習を繰り返したと自分に言い聞かせて自信を持って臨むことで、内定をいただくことができました。

進路が決まるまで悩んだり苦労したことも沢山ありましたが、最終的には希望の企業に内定をいただくことができ良かったです。自分の努力だけで無く、先生方・友人・家族の支えがあったからこそ乗り越えることができたのだと感じました。

4月からは地域や社会に貢献できる社会人として働いていくこと・高校三年間で学んだことを活かして働いていきたいと思っています。

5. 前橋市農業協同組合

私は、前橋市農業協同組合から内定をいただきました。勢多農林高等学校で学んだ知識や経験を活かせる職業だと思い、農業協同組合への就職を決めました。

進路が決まらず、就職か進学かという大きなくりでさえ迷っていたので、どちらでも対応できるように一年生の時からテスト勉強に励み、評定平均を上げる努力を続けていました。

親戚が農家をやっていたまに手伝いをしていたので以前から農業は身近なものでした。そんな中、親戚から「台風で被害が出たときに農協のお世話になり、助かった」という話を聞き、私も身近に感じていた農業に関して、人の役に立てるような仕事がしたいと思ったことが大きなきっかけです。さらに、農家から話を聞いたときに農家毎に播種のやり方や管理の仕方などにこだわりがあることを知りました。改めて農業の奥深さにも興味を持つことで農家のお手伝いがしたいと思ったことも志望するきっかけとなりました。

農業協同組合に就職したいと決めてからは、筆記試験ではよく出るとされているSCOAの問題を何回も解きました。他にも作文では伝えたいことをわかりやすくまとめる練習・適性検査で嘘偽りのない解答を選ぶ練習・面接ではハキハキ受け答えができるようにすることや入退室の練習に取り組み、内定をいただくことができました。

入社後は、少しでも多くの方を笑顔にできるようなやりがいがあり誇りの持てるような仕事をしていければいいなと思っています。

6. 株式会社原田 菓子製造ラインオペレーター

私は株式会社原田に内定をいただきました。私は食品製造に携わる仕事をしたいと考えていて、安心・安全で多くの人から愛される美味しい商品を多くの人に届けたいという思いがあります。原田では、HCCAP など衛生的な環境を整えているところや品質管理を徹底しているところ、一つ一つの商品にこだわりを持っているところなど、私の思いを実現できると考え志望しました。

原田に決めたきっかけは、仕事内容や福利厚生が充実しているところ、大企業であるため信頼度が高く倒産の心配がないということなど、色々加味した上で選びました。実際に企業見学をしてみて、会社の雰囲気や商品のこだわり、仕事を見て社員の方々のお客様を第一に考えている姿に感動しました

試験を受ける上で、面接練習を繰り返したり、過去の受験報告書やインターネットで会社の情報を集めて試験に備えました。準備の甲斐もあって試験当日は落ち着いて臨むことができました。試験は2次試験まであり、1次試験では筆記試験と面接、適性検査がありました。2次試験は面接のみ行いました。面接は、志望動機や学校での活動、検定や部活動について聞かれました。企業の方が勢多農のことをよく知っていて、色々質問されました。

私は、先輩方が残してくれた受験報告書を見て、筆記試験や面接の対策を行ってきました。実際の試験では、受験報告書にあった情報が役に立ち、慌てずに落ち着いて自分をアピールできました。勢多農は普通校と違い検定や実習などがあるため、様々なことを体験したという強みがあります。今まで学んできたことや経験してきたことを企業で活かせるように頑張りたいです。

7. 社会福祉法人 前橋至道会 シャリティエ前橋 介護職員

入学当初は冠婚葬祭関連の進路に進もうと考えていました。しかし、フラワーデザインコースで行われる数々の地域交流を通して人と関わることの楽しさを感じ、コミュニケーション重視の仕事に興味を持ち始めました。

介護職員になろうとしたきっかけは、母が元々介護職員だったので介護について色々聞いてきたなかで介護という仕事は思いやりの心やコミュニケーションが重視される仕事だと知り、介護職の道に興味を持つのと同時にこの仕事に就こうと決断しました。

就活中には介護職の求人票をたくさん見比べ企業見学先を二社に絞り、夏休み中に企業見学を行いました。企業見学先では些細なことでもたくさん質問をすることを心がけました。そのおかげで第一志望先の企業へ面接に行ったところ、企業見学での印象が良かったため面接中にその場で「是非一緒に働きましょう」という声をかけていただくことができました。面接で評価をしていただいたとはいえ、実際に内定通知書をもらった時は家族や友人と喜び合いました。採用をいただいた企業への感謝を忘れずに、就職先でも精一杯頑張りたいと思います。